

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1234	単位数	2
担当者名	竹野 学	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

ゼミでは文献の輪読を通じて、下の到達目標に掲げたような、文系の大学生として最低限身につけておくべき技術の習得をめざします。  
 今期は、2000年代から中国を中心とするアジア市場との結びつきを強めてきた日本経済は、今後ASEANとの連携を必要としていくとの議論について学習した上で、今後の日本経済の動向や課題を各自で考えることが狙いです。  
 そしてその調査学習の結果をプレゼンテーションという形で発表してもらいます。

● 到達目標

1. 著者の伝えたいことを正確に読取る能力を身につける。
2. 読んだ文章を的確に要約して文章化する能力を身につける。
3. 自分の考えを口頭や文章で他人に伝える能力を身につける。
4. 問題を発見し、その解決に必要な情報を収集・分析・整理しその問題を確実に解決できる能力を養う。
5. 多文化・異文化に関する知識の理解を養う。

● 授業内容

- 1週目 打ち合わせ ゼミの進め方の説明、報告順の決定と文献の調べ方の解説
- 2週目 学習のための基本的技術の確認（読書法、資料調査法、レジュメ作成法など）
- 3週目 『新貿易立国論』序章輪読
- 4週目 『新貿易立国論』1章輪読
- 5週目 『新貿易立国論』2章輪読
- 6週目 『新貿易立国論』3章輪読
- 7週目 『新貿易立国論』4章輪読
- 8週目 『新貿易立国論』5章輪読
- 9週目 『新貿易立国論』6章輪読
- 10週目 『新貿易立国論』7章輪読
- 11週目 各自の問題関心に基づいて自由に選んだ文献の輪読第1回
- 12週目 各自の問題関心に基づいて自由に選んだ文献の輪読第2回
- 13週目 各自の問題関心に基づいて自由に選んだ文献の輪読第3回
- 14週目 各自の調査学習に基づくプレゼンテーションとディベート第1回
- 15週目 各自の調査学習に基づくプレゼンテーションとディベート第2回
- 16週目 全体のまとめ+フィードバック

● 準備学習(予習・復習)等の内容

1 週目はゼミ全体の予定や輪読での担当箇所を決めますので、必ずテキストを持参してください。  
 報告者は報告に向けてテキストを精読し内容を簡潔にまとめ、関連文献の調査などの準備を行ってください。また、参加メンバーはテキストを読んで、質問事項や議論すべき内容を各自で考えてきてください。  
 それらの中で受講生各自が関心を持ったテーマについての調査学習の成果をゼミの後半期間に発表してもらいます。

● 成績評価の方法・基準

報告の内容（50%）、討論への参加態度（50%）などで総合的に評価します。なお、無断欠席をする学生には単位取得を認めません。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

毎回の報告者を決めて、報告者にレジュメの作成と報告をしてもらい、それをもとにして全員で議論をします。そのため、全員が毎回必ずテキストを読むことがゼミに参加するための前提となりますし、遅刻や無断欠席は厳禁です。  
 また期末の課題などは課しません。毎回のゼミの参加状況で評価がなされます。ゼミ中に提示された疑問・質問などでゼミ時間内に対応できなかった事柄についてはCousePowerにてフィードバックを行います。

● テキスト

- ・大泉啓一郎『新貿易立国論』文春新書、2018年

● 参考書

- ・各回のゼミ内容に関連する論文・記事などその都度指示、ないしコピーを配布します。

● 更新日付

2019/03/04 07:51